

- ▶ 住民と行政との協働や、新たな公といったテーマに関心のある住民をキーマン（リーダー等）として発掘・育成することが有効。

知恵袋

地域資源を活かすという地域づくりの基本をモビリティの確保にも適用

⇒ **自家用車を活用したボランティアによる輸送サービス【愛知県豊根村】**

- ・愛知県豊根村では、地域の課題解決には、地域にどのような資源があるのかといった視点で考えるようにしている。
- ・これまでも、都市と農山村の交流や、間伐材を利用した「木のリサイクル」などユニークな地域づくりを進めてきた。
- ・村の職員は、地域にどのような資源があるのかを把握するために、常にアンテナをはって情報収集に努めている。
- ・そうしたなかで、住民がコミュニティの助け合いとして、高齢者等の送迎を行っているという動きがあることを知り、これを地域資源として活かせないかという発想から、自家用車を活用した住民ボランティアによる輸送サービス仕組みづくりが生まれた。
- ・また、過疎化、高齢化が顕著な豊根村において、運転手ボランティアを確保することは容易ではなかったが、村の職員が常にアンテナをはって、地域の情報を集めていたことから、これまで個人的に高齢者の送迎を行っている人に打診するなどしてボランティアを確保した。